



岩手県立高田高等学校 T×ACTION 通信 - 2019

第2号

| 2020/3/17 |

「復興と再生に取り組む高等学校との交流会」参加

11月1日（金）、盛岡第四高等学校で行われた、「復興と再生に取り組む高等学校との交流会」に、本校2年生3名が参加しました。3人は、高高祭で行われた「T×ACTION STAGE」のビジネスプランコンテストで最優秀賞・優秀賞を受賞した生徒たちです。当日は、自身のビジネスプランを、地元出身ではない高校生たちにも分かりやすく伝えるよう、プレゼンに工夫を加え、堂々と発表してきました。交流会では、盛岡四高生徒会執行部の皆さんによる被災地訪問の報告、大槌高校復興研究会での活動発表も行われ、復興や地域振興について新たな視点を心得ることができました。



盛岡四高の生徒さんによる

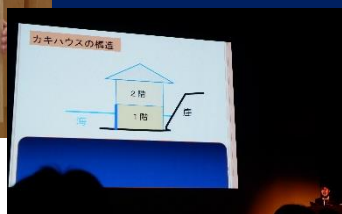
感想文より（抜粋）

- ・町や町に住んでいる人々のために自分たちでできることを見つけて、それを実行するという取り組みを行っていて、楽しそうだなと思った。
- ・復興とは町が元の姿に戻ることで今までは思っていたが、人々がたくさん住めるようになって、笑顔でいられるようになって復興と言うのだと私は考えました。
- ・自分の同じ年齢の岩手県内の生徒が自分たちの町の復興のために一人ひとりが事業を考えていることが心に残った。町の現状から良い事業を考え、メリット・デメリットや詳細まで考えているところがすごいと思った。
- ・実際やったら面白そうな企画ばかりだったし、高校生だからこそ気づけたような点もたくさんあり、地域の良いところを発見していて素晴らしいと思った。



ピーカンナッツプロジェクト

今年度 4 月からピーカンナッツの普及活動を行うプロジェクトがスタートしました。主体的にこのプロジェクト参加に名乗り出たのは、食に関心の高い3年生 10 名。ピーカンナッツを利用した様々なレシピを考案しました。また、先日ゴールデンピーカン株式会社から、半年間の取り組みに対し、メンバー一人一人に感謝状をいただきました。



1月26日に行われた大船渡ビジネスプランコンテスト2019最終審査会に、本校2年の加藤愛理菜さんが出場しました。加藤さんは、陸前高田産のカキが豊洲市場で一番の高値を出したことに着目し、地元でカキの資料館兼レストランを建て、形が悪かったりして市場に出回らないカキを使用し、安価でかつ質の高いカキを提供し、まちを活性化させるというビジネスプラン

「the カキハウス」を堂々とプレゼンし、**奨励賞**を受賞することができました！ご指導いただいた皆様、ありがとうございました。

Column

K

【T×ACTION KENTEI のいま】

T×ACTION KENTEI の取り組みでは、「計画力」と「実行力」を身に付けることを目標とし、各学年で工夫を凝らした取り組みを行いました。各種検定で合格者を昨年度よりも多く出すことができ、生徒にとっても大きな励みになりました。

【学校評価より】



本校の生徒・保護者・職員による学校評価では、「身につけていると思われる力」の項目について、「協働する力」が多くの人から挙げられました。また、「発信力」が身につけていると「思う」と答えた人は昨年度よりも僅かに増えました。今後のT×ACTIONにおける活動の参考にまいります。

～編集後記～

前回の発行から時間が経ってしまいました。申し訳ございません。また、今年度一年間、T×ACTION へのご理解・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。


さて、現在、学校はコロナウイルスへの対策ということで休校措置が取られています。予定していた「みんなの夢 Award in 陸前高田」も延期予定となっており、T×ACTION の活動も休止状態です。早く子どもたちが笑顔で学校に来ることのできる日が来ることを、心待ちにしているところです。

(土谷 桃子)


Web サイト:

 <http://www2.iwate-ed.jp/tak-h/>

電話:

 0192-55-3153

メール:

 tak-h@iwate-ed.jp